

(様式第4号)

上田市産院運営審議会 会議概要

1	審議会名	上田市立産婦人科病院運営審議会
2	日 時	平成28年11月2日(水) 午前・ <u>後</u> 1時30分から午前・ <u>後</u> 2時30分まで
3	会 場	上田市役所 5階 第1第2応接室(審議) 3階 第1応接室(答申)
4	出席者	森(寛)委員、山岸副会長、荒川委員、金子委員、徳永委員、宮下委員、 森(哲)委員、吉池委員
5	市側出席者	神代健康こども未来部長、村田院長、小林事務長、山崎医事課長、柳沢師長、 山田医事係長
6	公開・非公開等の別	<u>公開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者 0人	記者 4人
8	会議概要作成年月日	平成28年11月2日

協 議 事 項 等

1 開 会(事務局)

2 挨拶(会長)

3 議 事(進行:会長)

(1) 議題審議の概要

「産婦人科病院料金の一部改定諮問」答申案について

(会 長)

それでは答申案につきまして、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

説明

答申案につきましては事前にお送りさせていただいており、すでにご覧いただいているところですが、内容についてのご意見は特にございませんでしたので、原案についてご説明申し上げます。

はじめに、答申内容について6項目の趣旨を付した内容となっております。

(1)として、「各医療機関の料金設定に平成24年当時から変動が生じていることなどから、上田市立産婦人科病院料金の一部改定につきましては、地域の分娩取扱医療機関との均衡を念頭に置いた適正な料金改定が必要であると考え。」としております。

(2)としては、「医師、助産師等のスタッフの確保は絶対数が少ないことから非常に難しい面がある中におきまして、安全性の確保のため引き続き努力をしていただきたいといたしまして、非常勤医師を含む人材の確保については、過剰な人件費の支出とならないよう、なるべく人件費を抑制できる人材の確保が望ましいもの。」としております。

(3)といたしまして、「産婦人科病院の経営の安定化を図る上で、継続的に医業収益を確保することは、公営企業の経営の基本原則を考慮すると理解できるところであるが、料金を上げることに頼るのではなく、経常経費の削減に向けた努力、医業収入確保に繋がるサービスの充実を図ることも、必要であると考え。」としております。

(4)といたしまして、「公立病院として担うべき、妊婦、子育てをする女性に対する支援の充実、また、子どもの健やかな生活と育ちという面で、市の組織や民間の子育てに係る組織・団体等と連携する仕組みづくりを進め、より一層満足度の高い病院づくりに取り組むことを要望する。」としております。

(5)といたしまして、「人工妊娠中絶については、医療的な面と倫理的な面との間で難しい対応を迫られることがあるかと思うが、避妊指導も含めたきめ細かな対応を要望したい。」としております。

(6)といたしまして、「平成24年改定時における附帯意見として、料金改定については、医療環境の変化に対応する定期的な見直しが必要であるため、2年ごとの診療報酬の見直し時期にあわせて検討することが必要である。という意見を出していることから、適時、適正な料金を検討することが必要である。」としております。

以上のような趣旨を踏まえ、答申の内容として、「上田市立産婦人科病院料金の一部改正については、以下「料金改定明細一覧」のとおりとしております。ただし、帝王切開の改定率が他の区分と比較して高い率となるため、平成29年度から平成30年度に渡り段階的に改定を行うものとして、平成29年度については単胎(帝王切開)で167,500円、双胎(帝王切開)で250,500円とし、平成30年度については以下の改定額とするものです。なお、改定の時期は平成29年4月1日とし、

同日以降の分娩等に適用する。」ものとしたしました。

以上、答申案についてご説明申し上げ、内容についてご審議いただきますようお願いいたします。

(会 長)

事務局の説明にありましたが、帝王切開分娩料については、山岸委員のご意見に基づき段階的な値上げについて審議をし、お認めいただいた内容を掲載してあります。

何かご意見ございますでしょうか。

(委 員)

1点お願いがございます。答申趣旨の(4)について、ニュース等で子供の命に係る事件が多発している状況を見受けます。この(4)の内容を含め、命を大切にできる心を育む上田地域をつかっていていただきたい。また、拠点となる活動を進めてもらいたい。

市の組織、民間の組織の連携を図る中で、産婦人科病院は上田地域で重要な医療機関となるので、生命の誕生の瞬間を担う場所として、若いお母さん方へのご指導等をお願いしたい。

(会 長)

子供を大切にするという気持ちを、出産時における教育が重要であるというご意見であります、市としてはどうお考えでしょうか。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。子供に関する市の施策は、子育て子育て支援課、健康推進課の中で進めておりますが、1つとして、健康診断において虐待等の状況も含め観察をしております。

民間の団体でもこうした取り組みが行われておりますし、県としても同様取り組みがございます。こういった体制の中で、子供の育成環境を支えている状況がございます。本日のご意見は、取り組み方含め、今後の課題として検討してまいりたいと思います。

(委 員)

お母さん、お父さんの子育て環境の中で、出産・子育て環境を支える助産師の労働環境が悪いと感じる。働く人にゆとりがなければ良い指導はできません。経営の効率化による人件費の経費削減により、最低限の人員体制にするのではなく、人員的な余裕をもって業務に従事できる環境は確保していただきたい。

職員自身の子育てを支えるための働きやすい環境として託児所等を設けるなど、出産を支えるべき職員の職場環境の充実を検討していただきたい。

(事務局)

公立病院として、公共性と効率性を併せた運営が必要となります。そうした中において、ワークライフバランスとしての仕事とプライベートの調和がとれる環境整備が重要と考えます。現状の体制として職員の欠員もある状況において、厳しい実情の中でも患者に寄り添えるスタッフとして努力しており、職員教育や、定員補充の採用等随時進めております。

(会 長)

非常勤医師を調整し、看護スタッフを補充するという考え方もあるのではないのでしょうか。

(事務局)

非常勤医師については、医療の安全性の確保という面から必要数を確保している状況もありますが、再度必要性を見極めた上で、看護スタッフ等への調整を検討してまいります。

(委 員)

上田地域の医療体制は、2次医療は信州上田医療センターで行い、産婦人科病院は1次医療を担っており、医療体系や組織の違いによる給与体系の違いがあれども、スタッフは皆さん同じ気持ちで働いているのに、給与の違いに対する不公平感の声も耳にすることがある。

(事務局)

ご意見のような実情において、給与体系についてはそれぞれの組織の体系で行っているものではありますが、ご意見を踏まえ、検討はしたいと思っております。

(委 員)

子供の虐待に対するご意見もありましたが、産後うつに対する対策は行っているのでしょうか。ま

た、産前産後のフォローも行っているのでしょうか。この状態が子供への虐待につながる可能性があり、この対応により虐待を未然に防げるようになると思います。

(事務局)

産褥のうつ傾向は内分泌の影響によるところもありますが、分娩前にリスクファクターチェックをすることが良いとされておりまして、統一された方式により取り組んでおります。全妊婦に対応をし、必要に応じて精神科等専門医と連携し対応していきたいと考えております。

健やかに子どもが育つための環境づくりは地域の重要な施策であり、公的病院の職員として、健康福祉行政への取り組みを積極的に行うとともに、他地域からご利用いただく方に対しても対応していくために、幅の広い連権がとれるよう進めてまいりたいと思います。

(委員)

自身の体験として、子育てに対する時間差があると、保健師の指導内容や対応が違ってきていると感じました。良くはなっていると思いますが、子育てを取り巻く家族環境は幅が広く、家庭内でも時代の違いにより意見が変わってしまうのが実情にあり、世代による考え方の違いを解消できるような幅の広い子育て環境への指導や理解への仕組づくりをお願いしたいと思います。

(事務局)

母親本人の疲労と子供の虐待状況については、保健師による定期健診での見極めに取り組んでいる。今年度より、国が促進している事業である包括支援センターに助産師を配置し、母親等からの声に対応できる仕組みをつくっています。また、対応職員も相談の度に代わってしまうことがないように、特定の職員が応じられるような体制をとっています。

(事務局)

昨年度、産前産後の母親支援としてアンケートを実施いたしました。このうち、子育てに対する献身的な父母と祖父母との意見の食い違いによりもめてしまうという事例や、父親が子育てにかかわらないといったご意見がありました。こういったことも踏まえ、父親への育児支援対策として、パパカレッジ上田を開催し、男性育児参加への支援を進めるとともに、祖父母等他世代への対策を含め支援策の検討を進めたいと思います。

(委員)

各種講演会が開催されていますが、出席してみると同じ顔ぶれのような感じがいたします。学校等の教育機関への講演会を開催することにより、世代格差なく推進できるのではないのでしょうか。次世代を担う子供たちに対し将来を見据えた上において、施策を進めていただきたいと思います。

(会長)

子供の生活環境により精神疾患等の発症が大きくかわると示されるなど、情報はどんどん変化しております。予防対策が重要であり、この対策への取り組みとして県へ医療基金の活用を市としても要請等行っていただきたい。

以前知り合った医師で、精神疾患を抱えながら自身の努力により克服し医療現場に立っている方と知り合いました。こういった環境を乗り越えてこられた方を講師として講演会を開催することも効果的であり、子育て支援の一助となるのではないのでしょうか。

(事務局)

発達障害関連で11月5日に上田市文化会館で講演会を開催いたします。この講師の方は当事者であり、市民向けの講座として開催いたしますので、皆様方もご参加いただきますようご案内いたします。

(会長)

その他、ご意見ございますでしょうか。よろしければ以上とし、答申案についてお認めいただきましたので、市長への答申といたします。

5 答申

会長より市長へ答申

以上にて議事は終了。